



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: 山川あかね さん からの質問

ペンギンはなぜ鳥なのに海が泳げるのですか。

ペンギンが空を飛べないのはなぜですか

ご質問、ありがとうございます。

「鳥=空を飛ぶ」というイメージが強いですが、一部の鳥は飛ぶことをやめ、生活の場を陸上や水中にうつしました。ペンギンもそのうちの1種です。今回は、ペンギンが飛ぶことをやめた理由について、解説をしていきます。



ペンギンの祖先は海辺で生活していた鳥で、空を飛

ぶことも、水面に浮かんだり、水中に潜ったりすることもできたと考えられています。しかし、同じ暮らしをする種がたくさんいると、すみかや食べ物の取り合いになってしまいます。そこで、それぞれの種は生き残るために、様々な工夫をしながら進化してきました。ペンギンの場合は、それが「水中に特化する」という工夫だったのです。



ペンギンの翼は他の鳥とは違い、長い羽が生えていません。その代わりに太く短く頑丈にできていて、水をかいて上手に泳ぐことができます。さらに、脚には水かきがついています。また、空を飛ぶ鳥は体を軽くするための構造が必要ですが、ペンギンにはそれがありません。体重を重くすることで、上手に潜水して魚を取ることができます。また、皮下脂肪を蓄えることで、寒い地域にも生息できるようになりました。

このように、ペンギンは飛ぶことをやめる代わりに、他の鳥より上手に泳ぐことができるようになりました。同じくダチョウも、飛ぶことをやめる代わりに、どの鳥よりも速く走ることができます。これも、それぞれの種が生き残るために工夫をしてきた結果です。「鳥」と一言にまとめられがちな鳥類ですが、じっくり見ると意外な得意技が見つかるかもしれません。